

知事の市町村合併トーク in 大館



去る6月14日、合併の必要性や是非について知事と市長、市議会議員との意見交換を行う「知事の市町村合併トーク in 大館」が開催されました。ここでは、その概要をお知らせします。

○合併すると行政区画が広大に現状を維持できるが、その後は地方交付税が減らされるので市政運営の財政面が心配される。

○今後の地方交付税削減を考慮すると合併のメリットが大きい。合併特例法の有利な起債を活用しながら、特例措置が適用される10年間に財政面の体質改善をするなど新しい体制を作ってほしい。

○合併すると組織の統合など行政の効率化が行われ、住民サービスの低下が心配される。

○効率化を考えると、1市2町より北秋田も含めた方がよいのではないかと。管理部門を減らし窓口や福祉関係を増員するなど住民サービスの低下させてはいけない。

○大館市は合併を呼びかける立場になるべきだが、隣接町村の感情を損なわないか。

○まちづくりは周辺部からやるという寛容さ、ふところの深さをもっとほしい。待っていても来な

い、来てくださということが必要でないか。

○行政はムダが多い。少子高齢化や財政面を考えると、広域化して効率を上げるしかない。また、それぞれの市町村には体育館など同じような施設があるので、合併により効率的な施設利用が可能になると思う。

○ご指摘のとおり、行政は考えを変えていかなければならない。



○大館市から弘前市に買い物に行く市民が多い。秋田市一極集中ではなく、県北、県南にも拠点となる都市が必要でないか。

○大館市は北東北の中心に位置し地理的条件に恵まれているので、今後大いに発展する可能性があると思う。



○国や県は合併のメリットばかり強調して危機感をあおっている。住民が判断するための正確な情報提供が必要でないか。さきに合併した市町村では、財政状況の悪化や住民サービスの低下が聞こえてくる。

○考えているだけでは何も良くなるらない。行動してほしい。合併については住民の考えが基本にあると思う。そのために、住民の判断材料として市長や議会がリーダーシップをとり、住民にまちづくり計画案を提示するなどもっと積極的に働きかけてもいいのではないかと。市にとって何が大事か、自分たちのまちを今後どうするかを考えて行動してほしい。

想定されますが「大館市の場合はどうなるのか」の研究を行う必要があります。そこで、本年4月に比内町と田代町とともに「大館圏域市町村合併共同研究会」を発足して合併のメリット、デメリットなどについて調査・研究を行っています。今後は、その結果を住民の皆さんにお知らせし、アンケート調査の実施も予定しています。また、市独自でも「市町村合併庁内勉強会」を設置。関係市町村の公共料金や事務・事業・住民サービスの進め方について調査を進めています。

市町村合併は住民が主役です

市町村はそこに住む住民のためのものです。「合併」は、財政や効率面も含め、まちのありかや住民が受けるサービスの将来のまちづくりを考えるうえで一つの選択肢としてとらえて議論していかなくてはなりません。

このため、地域や職場、ご家庭で「合併」についてぜひ話し合ってください。あなたの意見が『21世紀のまちづくり』を決めます。

市町村合併のお問い合わせは
企画振興課

☎49 3111(内線269)